

令和 6 年 5 月 20 日現在

機関番号：32616

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2023

課題番号：19K20516

研究課題名（和文）人民公社初期、華北村落社会の変容

研究課題名（英文）The Social Transition of Rural North China in the Early People's Commune Era

研究代表者

河野 正（KONO, TADASHI）

国士舘大学・21世紀アジア学部・講師

研究者番号：40709002

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,100,000円

研究成果の概要（和文）：本研究を通じて、主に1950年代の中国・華北地域の農村社会、とりわけ人的結合および中国共産党の権力の浸透過程について、明らかにすることができた。具体的には、1950年代の中国共産党による諸政策、特に農業集団化を通じて中国共産党の権力が村レベルで確立していくのと同時に、基層社会における「村」レベルの結びつきが強化されたことを明らかにした。これは人民公社成立時点の農村がどのような状況に置かれていたのかを明らかにするものであり、現代の中国という地域の成り立ちを考える上で重要な知見である。

本研究の成果は単著の他、複数の学術論文や口頭発表により、国内外に向けて発表を行っている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では現代まで続く中華人民共和国の成立過程で、その大部分を占めた農村社会がどのように変わったのか、あるいは変わらなかったのかを明らかにした。中国という国は、一見すると強い権力を持つ共産党が、国土の隅々まで強く管理するというイメージが持たれる。しかし旧来の中国についての研究では、社会の弱い結びつきや、社会を十分管理できない政府の姿が指摘されてきた。そのため本研究は、共産党による社会管理の実態、そしてそれがどのような歴史的過程を経て出来上がったものかを考察した。

本研究では1950年代の農業集団化政策を通じて共産党の権力が強化されるのと同時に、村社会の結びつきも強化されたことを明らかにした。

研究成果の概要（英文）：Through the research, we were able to shed light on rural society in North China in the 1950s, particularly on the process of human cohesion and the penetration of the CCP's power. Specifically, we found that the CCP's policies of the 1950s, particularly agricultural collectivization, established the CCP's power at the village level, and at the same time strengthened ties at the "village" level in the grass-root society. This clarifies the situation of rural villages at the time of the establishment of the People's Commune, and is an important finding when considering the formation of contemporary China.

The results of this research have been published both domestically and internationally through several academic papers and oral presentations, in addition to a monograph.

研究分野：中国現代史

キーワード：中国共産党 農村 結びつき 基層社会 農業集団化 社会主義 華北 河北省

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

本研究が対象とする中国農村、特に華北地域の農村をめぐっては、これまで多くの研究がなされてきた。しかしその多くは政策レベルのものにとどまり、史料的な制約もあり、社会の側の実態についての研究は不十分だった。また、本研究を開始した頃は、現在と比べて中国でのフィールドワークが比較的しやすかった時期であり、そのような手法を通じて社会の実態を明らかにすることが期待されていた。

2. 研究の目的

本研究では中華人民共和国成立初期、特に1950年代の農村社会の変容とその実態を明らかにすることを目的とした。これは現在まで続く中華人民共和国という国家が、その成り立ちにおいて、また地理的に多くを占める農村において、どのように形作られてきたのかを明らかにするものである。本研究がこのように考えるのは、この時期に作られた村落社会をめぐる環境が、現在の中国社会にも大きな影響を与えていると捉えているためである。そのため本研究は単に歴史学の立場からの知見を得るだけでなく、現代中国全体についての理解を深めることを主要な目的としている。

3. 研究の方法

本研究は主に文献史学の手法を採りながら、中国農村におけるフィールドワークなど、歴史人類学的な手法も採った。2018年および2019年には中国の農村において複数回のフィールドワークを行った。しかし2020年以降のコロナ禍およびその後の中国側の様々な変化により、新規のフィールドワークは行えない状態にある。

史料としては台湾・国立政治大学において所蔵資料の収集を行ったほか、主にアメリカ・カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)東アジア図書館所蔵の『中共重要歴史文献資料彙編』およびアメリカ・国立公文書館所蔵の現代中国関連資料の収集および分析を行った。このほか、『人民日報』など比較的入手が容易な中国側の新聞や、これまでに収集済みの『河北日報』など地方新聞の分析を行った。また、東京大学や東洋文庫、国立国会図書館関西館など日本国内の機関での資料収集も進めたほか、これまでに入手済みの資料についても引き続き分析を進めた。

4. 研究成果

本研究では複数の学術論文、単行本及び国際学会・国内学会での口頭発表などを通じて、研究成果の発表を行った。ここでは学術論文および単行本として公刊されたものを中心に、本研究の成果について説明を行う。

(1) 高級農業生産合作社の組織過程について

本研究では1950年代の河北省における互助組・初級農業生産合作社の設立過程について考察をおこなった。本論文では相互利益と労働力活用という面に着目し、それらの面で農民は共産党主導の農業集団化を旧来の自発的な助け合いの延長としてとらえており、そのために農業集団化が不調に陥っていたことを明らかにした(『河北省における互助組・農業生産合作社組織過程の諸問題 等価・相互利益および遊休労働力を中心に』、『歴史学研究』第999号、2020)

(2) 中華人民共和国初期タバコ産業の公私合営過程について

これは中国を中心とする世界のタバコ産業について共同研究の一環であるが、本研究との関連において、村の社会とは異なる視点から、中華人民共和国初期の中国共産党の政策を明らかにすべく、葉タバコおよびシガレット産業の国有化過程および、その後に与えた影響について明らかにした(『タバコ産業の政治経済学 世界的展開と中国の現状』昭和田、2021)

(3) 農村における謠言に関する研究

本研究では中華人民共和国初期の華北村落における謠言について研究を行った。これは基層レベルにおける中国共産党の権力浸透および影響力の実態について考察するためである。その結果、当該時期の農村において中国共産党は十分な影響力を持っていたとは言い難く、その結果、社会において様々な謠言が発生していたことを明らかにした。

(4) 中国共産党の権力浸透および農村社会の凝集性の変化について

本研究では共産党の権力浸透および農村社会の凝集性の変化という2つの問いを柱とし、それが1950年代という時期にどのように変化したのかを明らかにした。結論として、共産党の権力は、中華人民共和国の初期の時期には十分な浸透が見られなかったものの、農業集団化政策を

通じて敵対勢力の排除や共産党による人材育成が進んだことなどを背景として、共産党の権力が樹立されていった。また、特に高級農業生産合作社や人民公社など、村を超えた規模で集団農業の組織が作られたことで、逆説的に村としての結びつきが強まったことを明らかにした（『村と権力 中華人民共和国初期、華北農村の村落再編』晃洋書房、2023）

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計9件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 河野正	4. 巻 9
2. 論文標題 日本人研究者による華北農村調査の異同について(3) 『中国農村変革と家族・村落・国家』と『二十世紀華北農村調査記録』の比較検討	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 学習院大学国際センター研究年報	6. 最初と最後の頁 99-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 河野正	4. 巻 73(1)
2. 論文標題 中華人民共和国初期農村謠言考序説	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 社会科学研究	6. 最初と最後の頁 103-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 河野正	4. 巻 8
2. 論文標題 日本人研究者による華北農村調査の異同について(2) 『中国農村変革と家族・村落・国家』と『二十世紀華北農村調査記録』の比較検討	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 学習院大学国際センター研究年報	6. 最初と最後の頁 67-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 河野正	4. 巻 999
2. 論文標題 河北省における互助組・農業生産合作社組織過程の諸問題 等価・相互利益および遊休労働力を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河野正	4. 巻 74(7)
2. 論文標題 (書評) 田原史起『草の根の中国 村落ガバナンスと資源循環』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中国研究月報	6. 最初と最後の頁 33-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河野正	4. 巻 7
2. 論文標題 日本人研究者による華北農村調査の異同について(1) 『中国農村変革と家族・村落・国家』と『二十世紀華北農村調査記録』の比較検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 学習院大学国際センター研究年報	6. 最初と最後の頁 138-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河野正	4. 巻 6
2. 論文標題 華北農村調査の記録 - 2019 年8 月河北省農村	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 学習院大学国際センター年報	6. 最初と最後の頁 29-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河野正	4. 巻 73(11)
2. 論文標題 (書評) 久保亨『日本で生まれた中国国歌 「義勇軍行進曲」の時代』	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国研究月報	6. 最初と最後の頁 25-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河野正	4. 巻 93
2. 論文標題 (書評) 山本真 『金現代中国における社会と国家 福建省での革命、行政の制度化、戦時動員』	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 現代中国	6. 最初と最後の頁 97-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計10件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 3件)

1. 発表者名 河野正
2. 発表標題 中国共産党統治下における村落秩序の再編 1950年代河北省農村から
3. 学会等名 東京大学社会科学研究所・社研セミナー
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河野正
2. 発表標題 中華人民共和国初期、華北村落に見る人的結合の複層性 対策としてのむすびつき
3. 学会等名 2022 年度政治経済学・経済史学会春季学術大会 春季総合研究会「「結合関係」の比較社会史」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河野正
2. 発表標題 中国仏教研究資料探索
3. 学会等名 アジア研究図書館資料セミナー
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河野正
2. 発表標題 農業集団化時期、李翼事件をめぐる一考察
3. 学会等名 ワークショップ「毛沢東時代の暴力とイデオロギー」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河野正
2. 発表標題 「噂」から見る中国社会 中華人民共和国初期農村社会における「謠言」
3. 学会等名 東京大学ヒューマニティーズセンター第85回オープンセミナー
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河野正
2. 発表標題 「匯編」と統計資料 統計から見る中華人民共和国初期の社会
3. 学会等名 東洋文庫アカデミア「現代中国の海外流出資料とその活用 『中共重要歴史文献資料匯編』の可能性」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河野正
2. 発表標題 歴史から見る日中草の根相互理解とその意義
3. 学会等名 「JENESYS2020」日中青年研究者オンライン交流 新情勢における日中協力の潜在力（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河野正
2. 発表標題 河北省都市郊外農村の1950年代 食糧、野菜、綿花
3. 学会等名 国際ワークショップ 1950年代、共産党権力の浸透と農村社会（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河野正
2. 発表標題 中華人民共和国初期農村謠言考導論
3. 学会等名 第5届「百変民国 戦後中国と東亜変局」青年学者論壇會議（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河野正
2. 発表標題 中華人民共和国初期、農業集団化と農村社会
3. 学会等名 東京大学現代中国研究拠点オンラインセミナーシリーズNo.6
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 丸川知雄、李海訓、徐一睿、河野正	4. 発行年 2021年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 288
3. 書名 タバコ産業の政治経済学	

1. 著者名 祁建民、弁納才一、田中比呂志	4. 発行年 2022年
2. 出版社 汲古書院	5. 総ページ数 620
3. 書名 中国の農民は何を語ったか	

1. 著者名 川島真, 中村元哉編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 440
3. 書名 中華民国史研究の動向	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------